



平成29年 神無月号

横浜市北部病診連携緩和ケア症例研究会にて

当ステーションの理学療法士が講演

平成29年9月1日に昭和大学横浜市北部病院にて行われた症例研究会で当ステーションの理学療法士の神保が講演をしました。

第13回となった研究会では、横浜市北部圏を中心とした病診連携を強め、緩和ケアに関する臨床研究の促進を目的とした症例検討会を開催することになり、昭和大学横浜市北部病院の緩和医療科の横山先生の講演と併せ、同病院の理学療法士と共に当ステーションの神保も「がん・神経難病に対する在宅リハビリテーションと症例の報告」と題し講演致しました。

訪問リハビリの支援内容やリハビリのポイントを、事例をふまえながら在宅におけるリハビリテーションの実践がよくわかる内容でした。

同じリハビリでも病院と在宅でそれぞれの特徴があり、改めて緩和ケアにおけるリハビリの重要性を認識することができました。



〰〰都筑区在宅医療相談室から〰〰

5月に都筑区在宅医療相談室の役割等をお伝えしましたが、今回は、半期の相談室の利用状況についてお伝えいたします。

4月から9月末まで57件の相談があり、相談終了までに電話のやり取りなど221回の対応をいたしました。相談者は、ご家族やご本人からが13件と一番多く、次いで開業医や行政等から10件と続きます。相談内容は、かかりつけ医や専門医等の紹介が一番多く、ついで訪問看護への言語聴覚士や精神看護などの専門職を探す、時間外の定期訪問依頼などありました。

相談室として情報の更新に努めています。在宅医療について何かお困り事等がございましたら、お気軽にご相談ください。

都筑区在宅医療相談室より



健康まめ知識

秋は菊まつりが各地で行われ、大菊や菊人形など鮮やかな菊を楽しむことができます。鑑賞用で楽しめるだけでなく、菊は身体にも薬として用いられます。もちろん、味や香りのいい品種の菊はお浸しなど、食用として食べられている地方もあり食卓の彩りも鮮やかにしてくれます。花の部分を乾燥させて用いる生薬は、目の疲れや熱をとる作用があり、東洋医学では、視力減退や目のかすみに適用される「杞菊地黄丸(コギクジオウガン)」という処方に用いられます。健康食品の分野では、ブルーベリーやメグスリノキなどと一緒に配合し、パソコンやスマートフォンなどよく利用する人向きのサプリメントに利用されています。50年玉に刻印されている菊は、昔から日本に欠かせない花の1つです。色々な菊を楽しみ、食してみてください♪



☆9月のナーシングだよ!☆



9月の第3月曜日は敬老の日でした。敬老の日は、多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、その長寿を祝う趣旨で1966年に定められた日です。

ナーシングでは、敬老の日の記念に木箱のティッシュケースを塗装し、皆さんにその上からデコレーションをして頂きました。それぞれに素敵なケースが出来上がり、施設で使用しています。

あ〜夏休み〜

夏休みも終わりスタッフそれぞれリフレッシュすることができました。みなさんにはご迷惑をおかけしましたが、また気持ちを新たに訪問していきます☆



編集後記



朝晩の気温も下がり、すっかり秋になってきました。気候の変化により体調を崩しやすくなるので、お互いに無理をせず、うまく休みを入れていきましょう。(富山)

【目安箱】

ご意見、ご要望などは、いつでもご遠慮なく、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。

910-6327 主任管理者 吉井

都筑区医師会訪問看護ステーション
都筑区医師会ヘルパーステーション
都筑区医師会24時間在宅ケアステーション
都筑区医師会居宅支援センター
都筑区医師会福祉用具センター
都筑区医師会ナーシングホーム

TEL 045-913-5181
TEL 045-913-3577
TEL 045-913-3577
TEL 045-910-6327
TEL 045-911-6100
TEL 045-913-6321

看護・介護・福祉用具・24時間在宅ケア

居宅

FAX 045-911-6700

FAX 045-910-6506

☆☆パソコンから在宅事業部門の活動内容を見ることが出来ます。ぜひご覧下さい☆☆

http://www.tsuzuki-med.org/wp/center/zaitaku_features/

『ヨコハマつづき健康生活ナビ』の『在宅事業部門』からお入り下さい。